

このお祭りは金木町出身の津軽三味線の元祖、神原の仁太坊（本名秋元仁太郎 安政四年ゝ昭和三年）が存命中、金木町内の随所で演奏し廻っていたとの史実に沿って、毎年二回開催しているものです。

仁太坊祭り出演者プロフィール 三味線大会入賞者と共演者たちが盛り上げる豪華ステージ!

■三代目 井上成美 (いのうえ なるみ) (本名 藤村由慈)



・郷土民謡研究成美会副会主
・テレビ岩手アカデミー『三代目のしゃみせん教室』講師
・岩手県盛岡市出身・在住。
・6歳より故・初代井上成美に師事し、その後高校生まで黒澤博幸氏(二代目井上成美)に師事。
・2014年に三代目井上成美を襲名。
・2025年3月盛岡市出身フランメンコダンサー中田佳代子氏のスペインツアー公演『東北TOHOGU〜』に出演。
・2025年〜福田こうへいコンサートツアー邦楽バンドメンバーとして出演中。
・民謡の三味線伴奏や三味線教室を中心に、ソロ演奏や他楽器とのコラボレーション演奏など、幅広いジャンルで県内・外を問わず活動中。

【主な受賞歴】
2003年 第15回津軽三味線全日本金木大会 個人・一般B級の部優勝
2018年 第30回津軽三味線全日本金木大会 『岩手成美会』団体戦Aグループ優勝
2026年 第38回津軽三味線全日本金木大会 個人・一般A級の部最高位仁太坊賞

■柵瀬敬太 (たなせ けいた)



・2002年(平成14年)年11月12日栃木県那須塩原市出身。
・8歳から津軽三味線を多田あつし氏に師事、18歳には柴田雅人氏に師事。
・高校卒業とともに上京し、大学在学中は山中信人氏に師事。
・大学中退後は流派に属さず演奏活動をしていて、2024年2月より津軽三味線細川流に所属し、津軽三味線細川流師範細川敬太としても活動中。
・2021年には清水寺にて奉納演奏。
・フジテレビ「めざましテレビ」のキラビトに出演。その他多数TV出演。
・現在は細川たかし氏の伴奏や全国のイベント等に多数出演しており、意欲的に演奏活動を行っている。

【主な受賞歴】
2023年 第15回全日本津軽三味線競技会名古屋大会一般の部A優勝
2024年 第27回津軽三味線コンクール全国大会一般の部優勝
2024年 第16回全日本津軽三味線競技会名古屋大会一般の部A優勝 大会史上初二連覇達成
2025年 第37回津軽三味線全日本金木大会個人・一般A級黒川桃太郎賞
2026年 第6回全国じょんから三味線競技会金沢大会一般の部Aクラス優勝
2026年 第44回津軽三味線世界大会個人A級部門優勝チャンピオン
2026年 第38回津軽三味線全日本金木大会個人・一般A級白川軍八郎賞
2026年 第18回全日本津軽三味線競技会名古屋大会一般の部A優勝

■金木小学校三味線クラブ

■金木中学校三味線倶楽部



・2025年「第57回青森県PTA研究大会西北五つ大会」のアトラクション演奏として初めて小・中での合同演奏を行う。
・今年度は4月に「金木さくらまつり」、8月に「サントピアホーム夏祭り」で一緒に演奏し、11月には「藤崎チャリティ文化祭」に出演予定。

■八月朔日健太 (ほずみ けんた)



1998年弘前市生まれ、青森県・宮城県育ち。18歳で津軽三味線と出会い、多田あつし氏に師事。幼少期から学んだピアノで培った音楽性を活かし、革新的な作曲・奏法で現代音楽や他ジャンルとのコラボにも挑戦。全世界・全国での演奏活動のほか、青森・宮城・東京で三味線教室を主宰。テレビ番組MCや文化継承活動など、メディア・地域文化にも幅広く貢献している。ステージでは、メジャーアーティストのサポート演奏や、大相撲断髪式にて両国国技館での演奏、「Japan Festival in Riyadh」サウジアラビアなど海外公演、テレビ番組日テレ「さんま御殿」などメディア出演も行う。また、青森県ではATV青森テレビにて番組MCを務めた経験もある。

【主な受賞歴】
2026年 津軽三味線全日本金木大会個人A級3位黒川桃太郎賞受賞
2026年 全日本津軽三味線競技会名古屋大会団体の部優勝(四連覇)
2026年 全日本津軽三味線競技会名古屋大会デュオの部優勝

【Sakuramochi】
弘前大学津軽三味線サークルのOB・OG有志によって結成された津軽三味線集団。津軽三味線の力強い合奏と常識に囚われない作曲センスを軸に活動を行っている。

■吉田やす子 (よしだ やすこ)



・岩手県盛岡市出身
・幼い頃より岩手民謡を習い、青森県に進学したのをきっかけに津軽民謡を始める
・津軽民謡を中心に県内外で活動する
・岩手民謡を池田美砂子、佐藤光栄に師事
・津軽民謡を福士豊秋、二代目成田雲竹女に師事

【主な受賞歴】
平成3年 第31回岩手県知事杯争奪民謡王座決定戦優勝
平成5年 全東北民謡選手権大会優勝
全国民謡連盟全国大会優勝
平成7年 NHK東北民謡コンクール最優秀新人賞
平成11年 第46回青森県民謡王座決定戦優勝
第46代青森県民謡王座
平成18年 青森県民謡コンクール全国大会優勝
平成21年 津軽五大民謡全国大会桜花グランプリ
平成30年 第58回日本郷土民謡協会民謡民舞全国大会優勝 内閣総理大臣賞



五所川原第一高等学校津軽三味線部は、県高総文祭郷土芸能部門、津軽三味線世界大会等において栄誉ある賞を多数受賞。地域のイベントにおける演奏活動や芸術鑑賞教室などを通して津軽三味線という伝統芸能の魅力の伝承に重点を置き活動を続けている。昨春秋、津軽三味線上級者が集まるイベント「第31回成田弦まつり」へ参加し、世界大会で悲願の優勝を果たした曲「漣」を披露。

■高橋律圭 (たかはし のりよし)



・母方の親族が民謡歌手・津軽三味線奏者の家系に生まれる。
・22歳から本格的に民謡を習い始め、現在は日本民謡協会公認アンバサダーとして各種メディアに出演する他、オンラインレッスンを通じて国内外の方へ民謡指導を行う等、後進の育成にも努めている。

【主な受賞歴】
・2017年日本民謡協会内閣総理大臣杯優勝
・2022年日本民謡協会杯争奪今フェス2021優勝
・津軽五大民謡桜花グランプリ優勝(小原節、よされ節、あいや節で3度桜花グランプリ獲得により大会殿堂入り)

■高田 透 (たかだ とおる)



・1976年北海道茅部森町出身。
・民謡を唄う父の影響で9歳から民謡を始める。
・中学二年の時、全道・全国の少年民謡大会で優勝。
・2003年津軽民謡に魅せられ、津軽民謡に没頭する。実家から青森県平川市の第22代青森県民謡王座小山内忠勝師のもとへ特別レッスンに通い、本場の津軽民謡を学ぶ(2009年まで)
・2004年津軽五大民謡全国大会じょんから節の部優勝。
・2009年さらに、本場の津軽民謡を学ぶため青森市へ移住し、民謡酒場で修業を始める。第28代青森県民謡王座菊池鉄男師に師事。
・2012年鰯ヶ沢甚句全国大会優勝
・2016年第62代青森県民謡王座受賞
・2016年第45回全東北民謡選手権大会優勝
・2017年第32回津軽五大民謡全国大会桜花グランプリ受賞(総合優勝)
・同時に津軽五大民謡全国大会、津軽小原節の部3連覇達成
・2020年ファーストアルバムとなる、高田透津軽民謡集「一節入魂」を発売 ※数少ない本場青森県在注の若手津軽民謡歌手として、各地のステージで津軽民謡を披露している。

■石川義純 (いしかわ よしじゅん)



石川義純会会主 宗家石川流師範第25代青森県手踊り名人位・津軽手踊りの第一人者初代宗家石川義衛より幼少(6歳)の頃から直接指導のもと自然の流れに静と動の美しさを求めて日々活動中!

【主な受賞歴】
・第6回日本民謡民舞大賞内閣理大臣賞受賞
・第29回日本郷土民謡大賞内閣総理大臣賞受賞
・平成7年第25代青森県手踊り名人位獲得
・第二回青森県手踊り選手権青森県知事賞受賞
現在、青森・盛岡東京にて津軽手踊りを伝承中!

■石川義純会

